

いちき串木野市立



生冠中学校

児童生徒数 60人
学級数 5クラス



テーマ 自他を尊重し,思いやりをもって行動できる生徒の育成
～自尊感情の育成と人間関係づくりに関する取組を通して～

子どもの人権プロジェクト推進校の取組状況

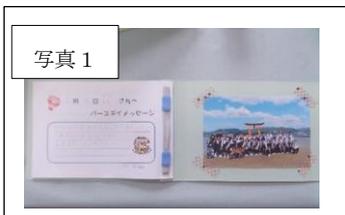
- 4月22日(月)12人 職員研修「生徒指導」
- 4月22日(月)60人 いじめ問題を考える週間・道徳の授業
- 5月20日(月)13人 職員研修「人権同和教育の進め方」
- 7月9日(月)60名 人権教室「仲間づくりと人権について」
- 12月9日(月)60名 人権教室「スマホ等の利用について」
- 1月27日(月)28名 生冠地区小中一貫教育推進協議会
研究授業・授業研究・情報交換
- 2月3日(月)13人 職員研修「人権同教育の年間の反省」

(取組の様子) 写真1
県教育庁人権同和教育課の指導主事を招聘し,仲間づくりを中心にして人権教室を行った。生徒間の会話が自然に生まれて積極的に取組んでいた。



(感想)
フラフープをみんなで持ち上げる活動で,全員の気持ちをそろえることの難しさと大切さを感じた。

特色ある取組 (他校にもおすすめの取組)



□ バースデイカードの作成 (写真1)
各クラスから募集した作成委員を中心に,誕生日を迎えた級友にお祝いの言葉と普段なかなか言えない感謝の気持ちをカードに記入してプレゼントする取組を1年間行った。生徒のアンケートには,とても嬉しかったという感想が多く,自己肯定感を高めることができた。来年度も継続して取り組む予定である。



□ 友達のいいところ発見ポストの実施 (写真2)
12月の人権週間に合わせて,生徒の自己肯定感を高めるために,生徒が日常におけるお互いのいいところを発見し,紙に記入してポストに投函する,いいところ発見ポストに取り組んだ。友達のいいところを発見し,自分のよさに気づいてほしいという取組である。多く生徒がポストに投函し,生徒はお互いの良さを認め合うと同時に,自分の気づかないよさを知ることにもつながった。



□ 人権標語・人権ポスター・児童虐待防止標語・人権作文の応募 (写真3)
いじめ問題を考える週間(4月実施)で人権標語に全校生徒で取り組んだ。夏休み課題では人権作文にもチャレンジした。写真3は,各学年の代表生徒の作品である。

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題(子どもの変容,よかったこと,今後やってみたいこと)

- バースデイカードでは,生徒は普段なかなか話をしない級友からメッセージをもらえることにとても喜んでいて,今回の様々な取組(含道徳科や特活の授業の改善,仲間づくりの実践)が生徒の自尊感情を高めていくきっかけになったと思う。カード作成は作成委員が中心となり,自分たちで話し合いながら,心を込めて作り上げたことに意味があったと思う。生徒から来年も続けて欲しいという声が多くあがっている。
- 人権に関わる様々な取組を通して,生徒はもちろん,教職員も生徒の人権に対する意識の向上が図られたので良かった。